

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日揮株式会社（証券コード:1963）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+
国内CP格付	J-1

■格付事由

- (1) プラントエンジニアリング会社の大手であり、EPC ビジネス（設計・資機材調達・建設）を一貫して手掛ける。高度なプロジェクトマネジメント力、エンジニアリング技術力を背景に、顧客から厚い信頼を得ており、国内外のエネルギー・化学プラントなどで豊富な建設実績を有する。特に、LNG プラントでは、リーディングコントラクターの位置付けにあり、洋上 LNG プラントも手掛けている。なお、19年10月1日より純粋持株会社体制へ移行することを検討している。
- (2) 過年度の受注環境の悪化を背景に近年の収益力は充実期に比べて低下している。ただ、足元では石油精製プラントや LNG プラントなどでも受注環境に改善の兆しがみられる。当社は強固な事業基盤を背景に LNG プラントや石油化学プラントなどの案件を着実に取り込んでおり、直近ではカナダの大型 LNG 案件を受注した。受注高は 16/3 期をボトムに回復傾向にあり、当面の業績は底堅く推移すると考えられる。強固な財務基盤も維持できる見通しであり、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 19/3 期の営業利益は 220 億円（前期比 2.3%増）を計画している。受注環境の好転に伴い今後も一定の売上規模を確保していくことは可能であろう。一方、近年は特定プロジェクトの採算悪化を要因に利益が大きく落ち込む局面も見られた。19/3 期は受注高 1 兆円を目標としており、プロジェクト管理やリソースの配分などリスクマネジメントの重要性は増してくると考えられる。当社は収益力強化と安定の同時達成を実現すべく、グループ経営体制の改革にも取り組んでおり、今後の進捗に注目していく。
- (4) EPC ビジネスはカントリーリスクをはじめ様々なリスクを伴う一方、当社の財務基盤は強固である。19/3 期第 3 四半期末の自己資本は 3,961 億円、自己資本比率は 57.7%である。また、ネットキャッシュポジションも継続されている。運転資金の増加などでキャッシュフローが圧迫されるケースもみられるが、強固な財務基盤が揺らぐ懸念は当面小さい。一方、引渡し完了したイクシス LNG 案件で、当社と顧客及びサブコントラクターとの間で費用の負担を巡り仲裁になっている。当社は回収可能と見込まれる金額を未収入金などとして貸借対照表に計上しており、JCR は仲裁の帰趨と業績、財務への影響をフォローしていく。

（担当）関口 博昭・山口 孝彦

■格付対象

発行体：日揮株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第4回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	200億円	2017年10月13日	2020年10月13日	0.090%	A+
第5回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	300億円	2017年10月13日	2022年10月13日	0.200%	A+

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	400億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2019年2月15日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：千種 裕之
主任格付アナリスト：関口 博昭
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) 日揮株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル